

令和7年度 学校教育に関するアンケート（保護者・児童）の集計結果と考察について

寒中の候、保護者の皆様にはますますご清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から、本校の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様と全校児童にご協力をいただきました学校教育に関するアンケートの集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

今回の結果及び本校職員の自己評価結果などを参考にしながら、今後の本校の教育活動を推進して参りたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

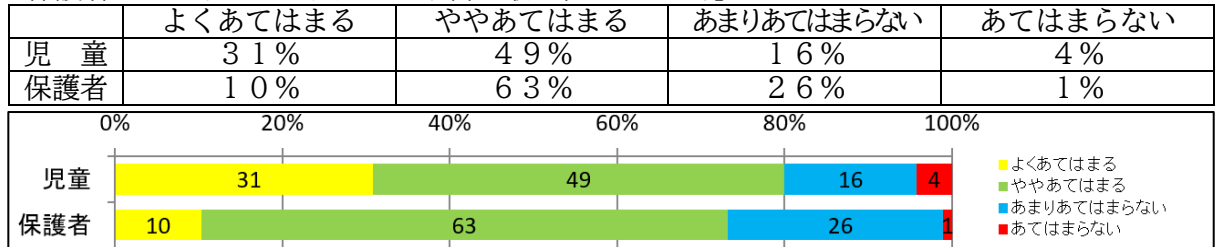
- 1 回収率 保護者：80.1%、児童：99.1%
- 2 内容項目 本校が目指す資質・能力（昨年と同様）
%表記のデータを扱っているため、数値の合計が100%にならない場合があります。

3 アンケート結果

(1) 学習に関する項目

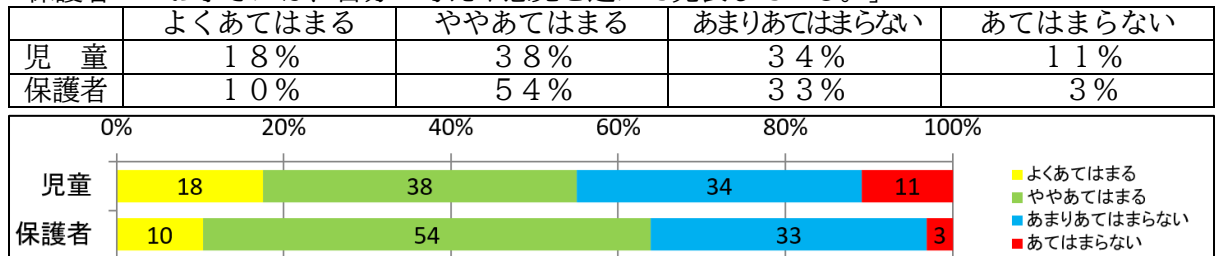
① 児童 「学習することは楽しい。」

保護者 「お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。」



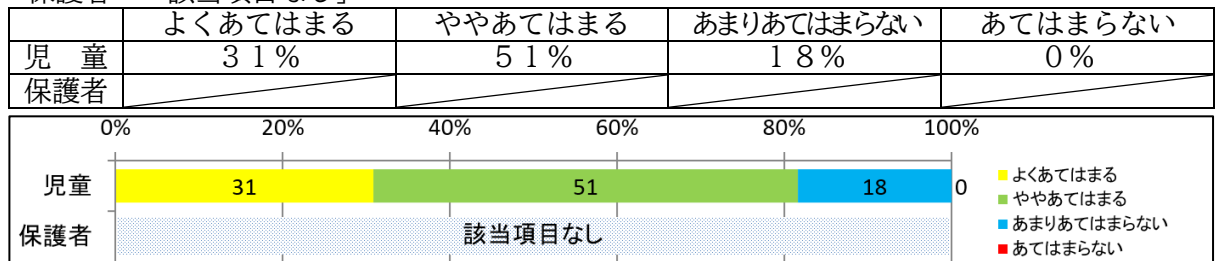
② 児童 「自分の考えや意見を進んで発表している。」

保護者 「お子さんは、自分の考えや意見を進んで発表している。」



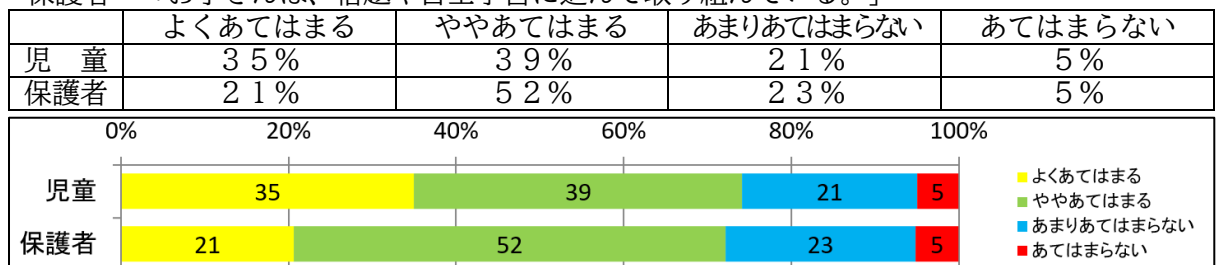
③ 児童 「みんなで話し合ってよい考えを出し合いながら学習している。」

保護者 「該当項目なし」

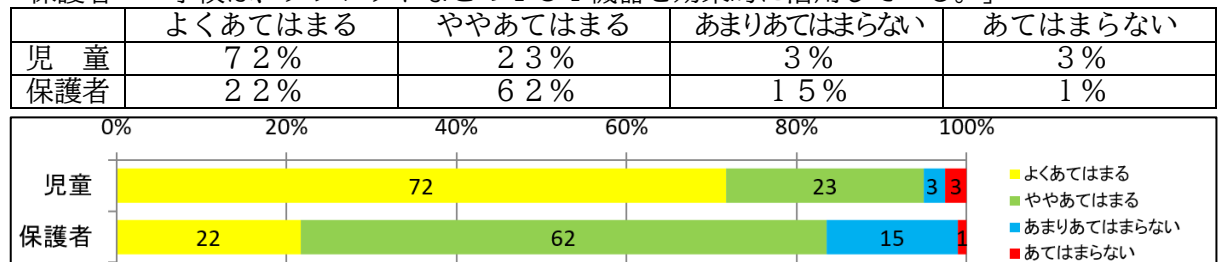


④ 児童 「宿題や自主学習を進んでしている。」

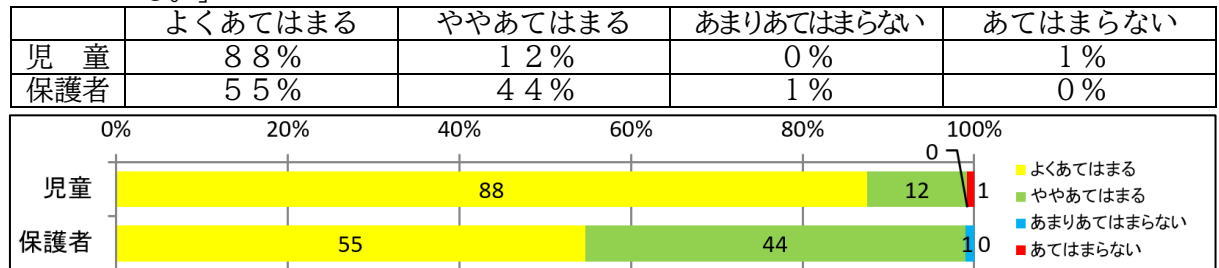
保護者 「お子さんは、宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。」



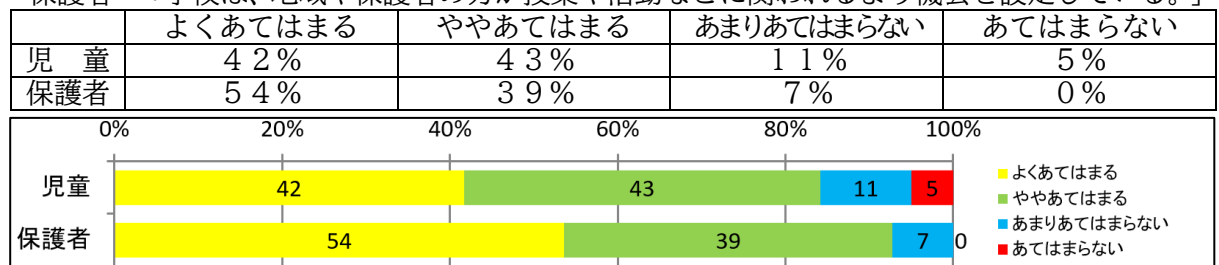
- ⑤ 児童 「タブレットを使った授業は楽しい。」
保護者 「学校は、タブレットなどのＩＣＴ機器を効果的に活用している。」



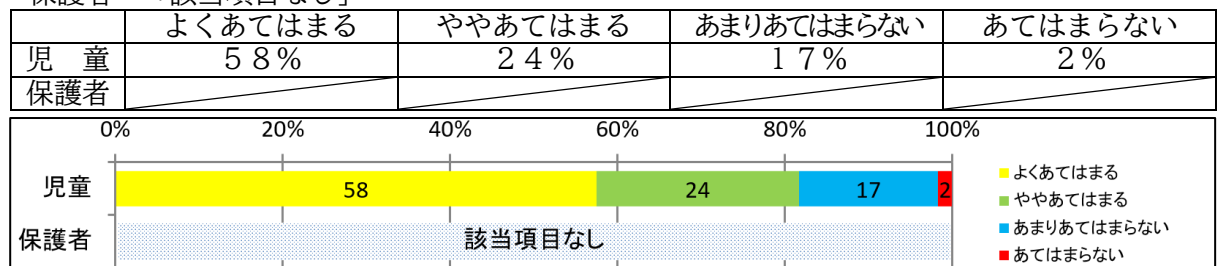
- ⑥ 児童 「遠足や校外学習、〇〇体験などの授業は楽しい。」
保護者 「学校は、地域の方との学習、校外学習、社会科見学など充実した体験活動を行っている。」



- ⑦ 児童 「他の学年の人、地域の方、ボランティアさんなどと活動することは楽しい。」
保護者 「学校は、地域や保護者の方が授業や活動などに関われるよう機会を設定している。」

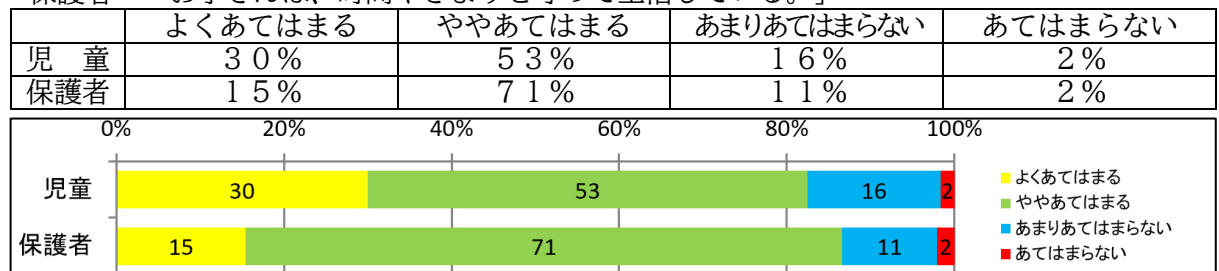


- ⑧ 児童 「読書をすることは楽しい。」
保護者 「該当項目なし」

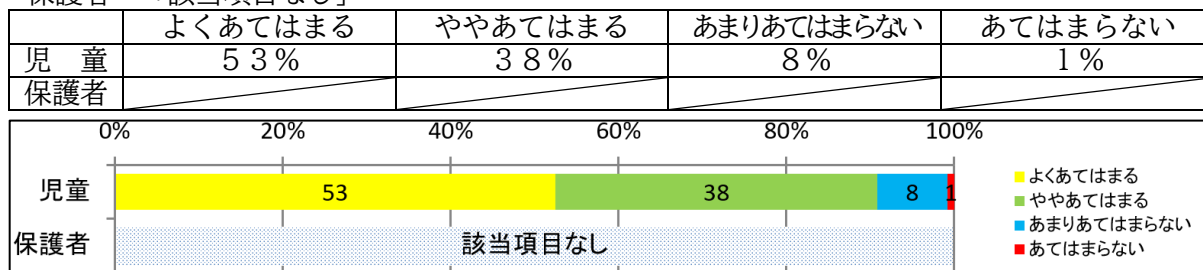


(2) 生活に関する項目

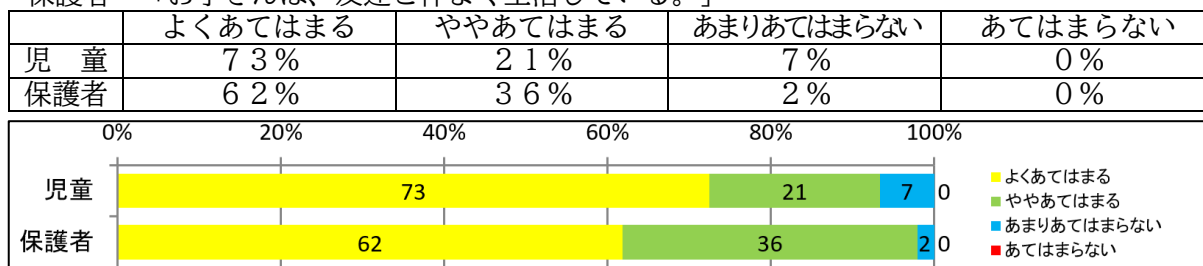
- ① 児童 「時間やきまりを守っている。」
保護者 「お子さんは、時間やきまりを守って生活している。」



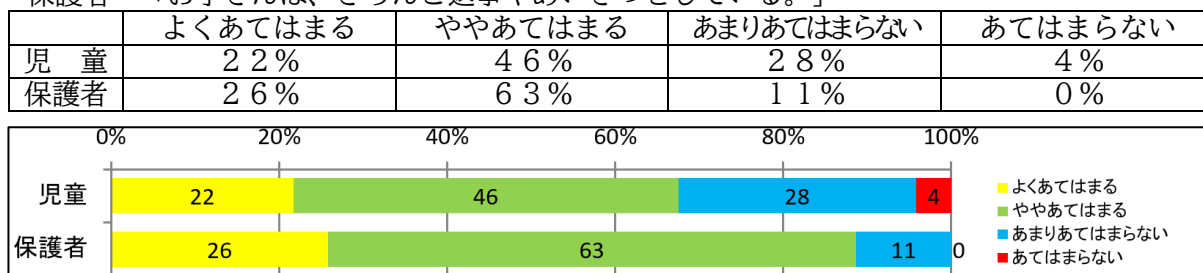
- ② 児童 「委員会や係活動、当番など、自分の仕事を進んでしている。」
保護者 「該当項目なし」



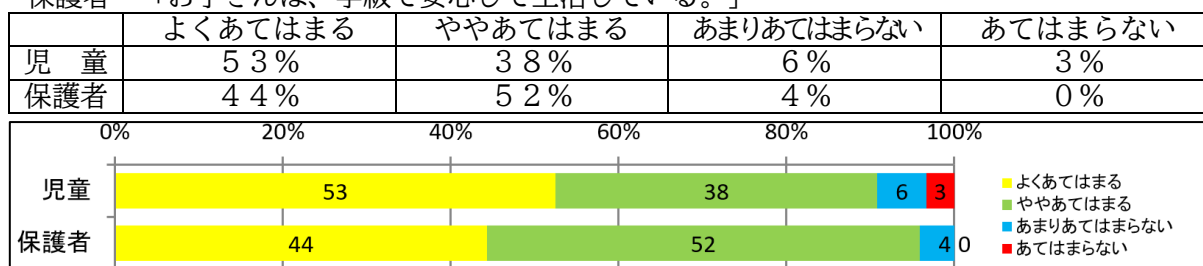
- ③ 児童 「友達と仲よく生活している」
保護者 「お子さんは、友達と仲よく生活している。」



- ④ 児童 「大きな声で返事やあいさつをしている。」
保護者 「お子さんは、きちんと返事やあいさつをしている。」

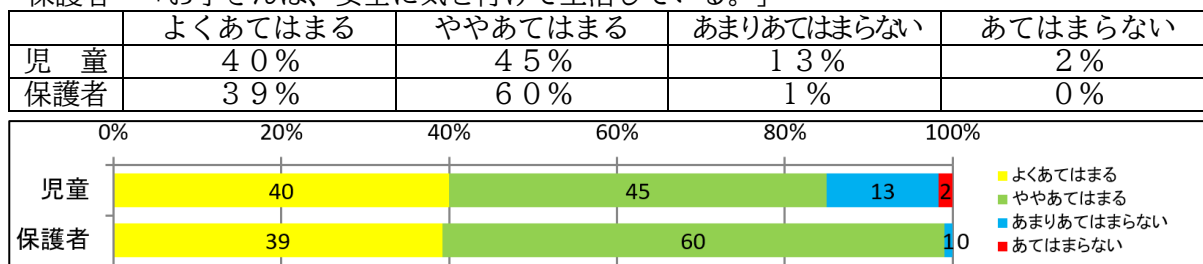


- ⑤ 児童 「学級で安心して生活している。」
保護者 「お子さんは、学級で安心して生活している。」

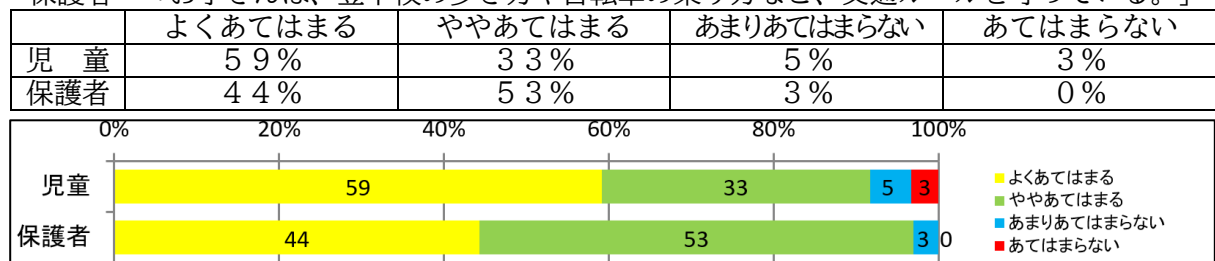


(3) 安全に関する項目

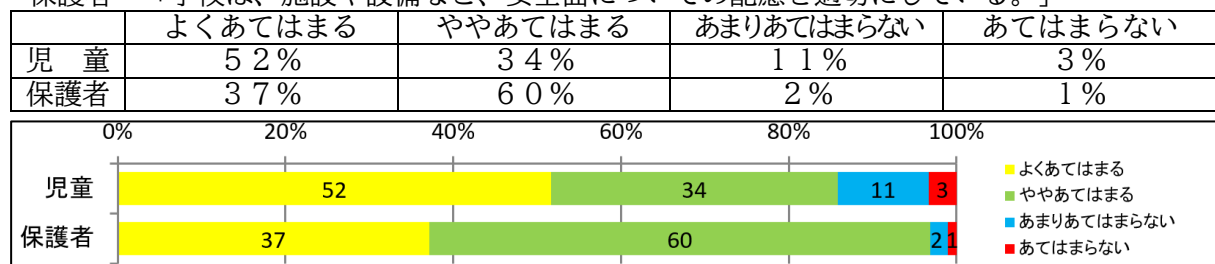
- ① 児童 「学校内の安全に気を付けて生活している。」
保護者 「お子さんは、安全に気を付けて生活している。」



- ② 児童 「登下校や外で遊ぶときなど交通安全に気を付けている。」
保護者 「お子さんは、登下校の歩き方や自転車の乗り方など、交通ルールを守っている。」

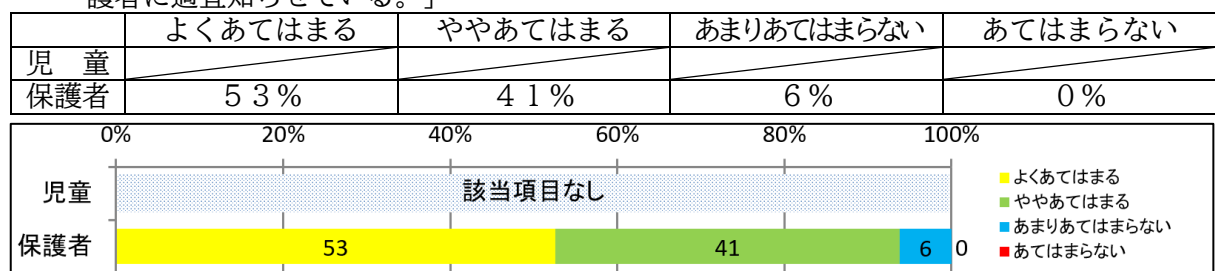


- ③ 児童 「避難訓練や不審者対応訓練、安全の日の学習は役に立っている。」
保護者 「学校は、施設や設備など、安全面についての配慮を適切にしている。」

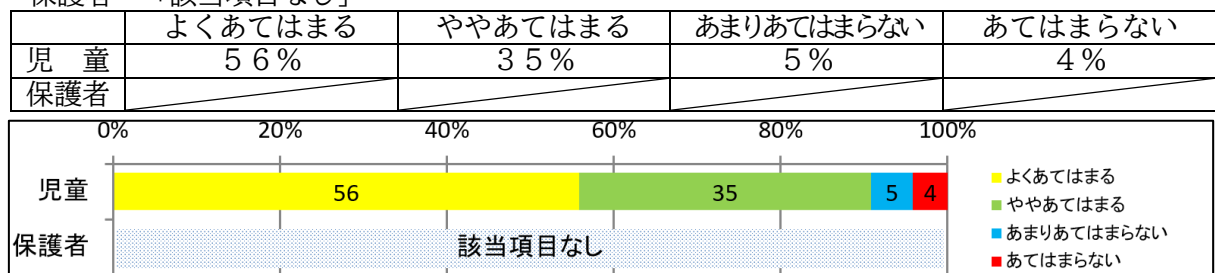


(4) その他の項目

- ① 児童 「該当項目なし」
保護者 「学校は、教育目標やお子さんたちの様子などの情報をHP、メール、おたよりなどで保護者に適宜知らせている。」



- ② 児童 「地域の行事に参加することは楽しい。」
保護者 「該当項目なし」



4 考察

判定基準の「よくあてはまる（たいへんよい）」と「ややあてはまる（よい）」をあわせた肯定的な回答は、次の表のとおりです。

	評 価 項 目 () は、児童アンケートの際に使用した言葉です。	保護者 (%)	児童 (%)	差 保－児
1	学習に関する項目			
①	進んで学習に取り組んでいる。(学習することは楽しい。)	73	80	-7
②	自分の考えや意見を進んで発表している。	64	56	8
③	(みんなで話し合ってよい考えを出し合いながら学習している。)		82	
④	宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。	73	74	-1
⑤	学校はＩＣＴ機器を効果的に活用している。(授業は楽しい。)	84	95	-11
⑥	学校は、充実した体験活動を行っている。(授業は楽しい。)	99	100	-1
⑦	学校は地域や保護者の方が関わられる機会を設定している。 (活動することは楽しい。)	93	85	8
⑧	(読書をすることは楽しい。)		82	
2	生活に関する項目			
①	時間やきまりを守って生活している。	86	83	3
②	(自分の仕事を進んでしている。)		91	
③	友達と仲よく生活している。	98	94	4
④	きちんと返事やあいさつをしている。	89	68	21
⑤	学級で安心して生活している。	96	91	5
3	安全に関する項目			
①	安全に気を付けて生活している。	99	85	14
②	交通ルールを守っている。	97	92	5
③	学校は安全面の配慮を適切にしている。(安全の学習は役に立っている。)	97	86	11
4	その他の項目			
①	学校は、情報を保護者に適宜知らせている。	84		
②	(地域の行事に参加することは楽しい。)		91	

※ は、80%を下回った項目と、保護者と児童の差が10%以上あった項目

5 成果と課題

(1) 成果について

- 保護者・児童アンケートの多くの項目で80%以上(うち複数項目で90%以上)の肯定的な結果が得られ、多くの児童が安心・安全な学校生活を送り、友達と仲よく、時間やきまりを守って過ごしていることが示された。
保護者：14項目のうち11項目で80%以上の肯定的な結果(11項目中7項目が90%以上)
児童：17項目のうち14項目で80%以上の肯定的な結果(14項目中7項目が90%以上)

(2) 保護者と児童の評価の差が10%以上ある評価項目について

- 項目1⑤「学校はＩＣＴ機器を効果的に活用している。(授業は楽しい。)」について
保護者評価が児童評価より11%低くなっています。要因の一つとして、端末の持ち帰りによる学習が家庭で見えにくいことが考えられます。また、保護者評価の自由記述欄においても、「ＩＣＴをもっと活用(家庭での宿題を含む)してほしい」というご意見を多数いただきました。
今後は、端末を持ち帰って宿題やドリル学習に取り組む機会を検討して参ります。また、学習の成果や活用場面を、授業参観などの機会を通して発信して参ります。
- 項目2④「きちんと返事やあいさつをしている。」について
児童評価が保護者評価より21%低くなっています。学校で実施した「あいさつアンケート」では、「家族にあいさつしている児童」が86%、「登校中にあいさつする児童」が88%、「自ら率先してあいさつする児童」が86%と、いずれも80%を超える結果でした。一方で、あいさつしていると回答した児童のなかでも、「ときどきする」と回答している児童の割合が多いことから、今後も継続してあいさつの習慣化を図るとともに、よくできた際にはそのよさを積極的に認め、児童の自己肯定感の向上につなげて参ります。
- 項目3①「安全に気を付けて生活している。」、項目3③「学校は安全面の配慮を適切にしている。(安全の学習は役に立っている。)」について
児童評価が保護者評価より「安全に気を付けて生活している。」は14%、「学校は安全面の配慮を適切にしている。(安全の学習は役に立っている。)」は11%低くなっています。要因の一つとして、保護者が家庭での声かけや学校の安全指導を高く評価している一方で、児童自身は日常の行動の中で「安全に気を付けている」と自覚できていない場面があることが考えられます。
今後も、本校で実施している「安全の日」の取組をさらに充実させるとともに、児童が自ら安全行動を振り返る機会を設け、意識化と習慣化を図って参ります。

(3) 保護者評価において80%を下回る評価項目について

○ 項目1①「進んで学習に取り組んでいる。」について

「進んで学習に取り組んでいるか？」の保護者評価が73%であり、児童アンケートの「学習することは楽しいですか？」の回答も昨年より9%低下する結果となっています。学習の楽しさを実感できることは、家庭で自ら学習に向かう主体性と関係する部分もあり、児童が学習の楽しさを十分に感じられていないことが、家庭での学習意欲の低下につながっている可能性が考えられます。

今後も、学年の進行に伴う学習内容への対応や、成功体験を数多く経験することで、学習することが楽しいと感じられるように、指導の充実を図って参ります。

○ 項目1②「自分の考えや意見を進んで発表している。」について

保護者が64%、児童が56%という結果は、昨年度（保護者64%、児童66%）と比較しても低い水準となっています。今年度は、発達段階に応じた対話力の育成を学習指導上の目標とし、自分の考えを伝えることだけでなく、相手意識をもった活発な対話になるよう、語彙力を高められるような言語環境の整備や、相手の話を聞いて理解しようという意識を育てることに力を入れてきました。

今後はより一層、児童同士が協働し、他者との対話をとおして、自己の考えを広げ深めることができるよう、学習活動の工夫と充実を図って参ります。

○ 項目1④「宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。」について

保護者73%、児童が74%という結果は、昨年度（保護者76%、児童90%）と比較しても低い水準となっており、特に児童評価は昨年より16%も低くなっています。学習意欲や学習習慣を高めるためにも家庭学習は重要であることから、家庭での学習課題を適切に課し、家庭と連携した学習習慣を確立できるよう引き続き指導を進めて参ります。

6 その他の欄にいただいたご意見（Q）と回答（A）について

Q 全ての教室へのエアコンを設置してほしい

A これまで上三川町では、町内すべての小・中学校の教室にエアコンを設置してきましたが、今年度は新たに体育館へのエアコン設置が進められました。令和7年度11月に工事が開始され、2月には完了する予定です。夏の暑い時期での使用を前提に整備されたことで、より快適な環境のもとで教育活動を行うことが可能となりました。

今後も、児童の学びや活動が一層充実するよう、環境整備に努めて参ります。

※ このほか、「ホームページの充実」、「児童指導の在り方」、「トイレの清掃」などのご意見をいただきました。

これらにつきましては、学校内で検討させていただき、今後の教育活動を進める際の参考とさせていただきます。アンケートのご協力、大変ありがとうございました。